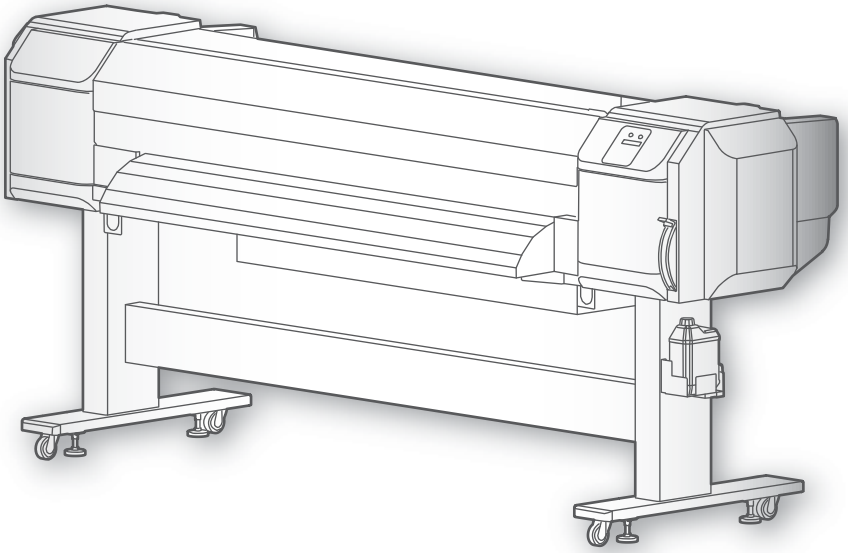
MUTOH

ValueJet

VJ-1638UR Mark Ⅱ
スタートアップガイド

開梱と初期設定



開梱 2
組み立て 7
ケーブルの接続..... 13
セットアップ..... 14
テスト印刷..... 22
MUTOH Status Monitor のインストール..... 30
スリープモード..... 31
安全にお使いいただくために..... 33
お問い合わせ先..... 39

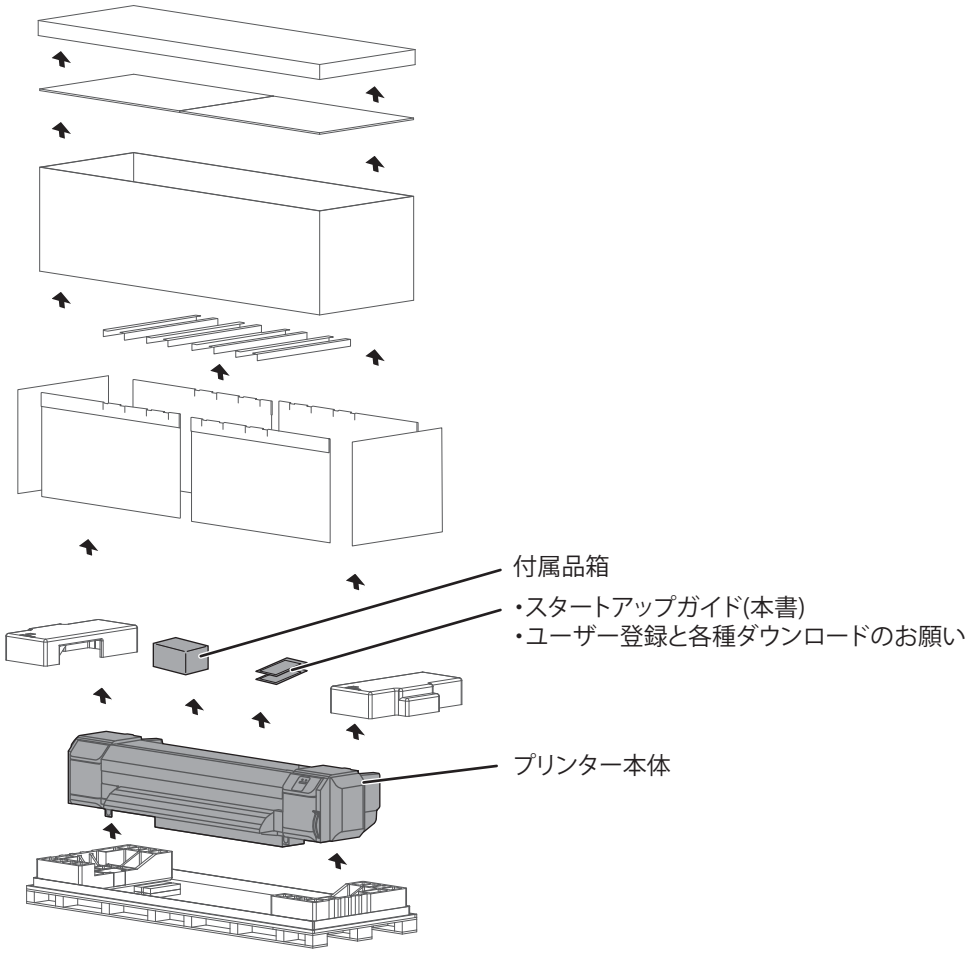
- 本書の内容の全部または一部を、無断で複写・複製することを禁止します。
- 本書の内容につきましては万全を期していますが、万一ご不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本書に記載された取扱方法以外の手順によって生じた故障、事故などにつきましては、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

開梱

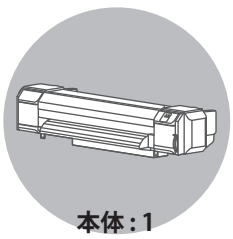
⚠ 注　意	・プリンターを開梱または移動する場合は、かならず 4 人以上で作業してください。 ・プリンターは水平の状態を保ったまま移動してください。

プリンターの開梱

[1]　梱包箱を開き、各部品を取り出します。



[2] 同梱品がすべてそろっているか、確認します。


本体 : 1

設置要領書 : 日/英 各1
「スタートアップガイド」(本書)

ユーザー登録と各種ダウンロードのお願い : 日/英 各1

専用インク注意シート : 日/英/中/韓 各1

取扱注意シート : 日/英/中/韓 各1

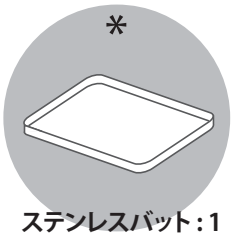
デイリーメンテナンスシート : 日/英 各1

ペーパータオル : 5

クリーンスティック : 50

スポイト（5 ml）: 2

プラスチックカップ（100 ml）: 1

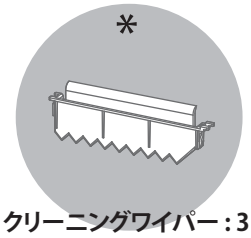

ステンレスバット : 1

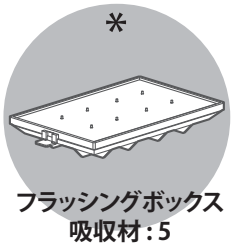
ゴム手袋 : 100

ポリエチレン手袋 : 100

ゴーグル : 1

スクレイパー : 2


クリーニングワイパー : 3


フラッシングボックス吸収材 : 5

廃液タンク : 1

遮光カバー : 1

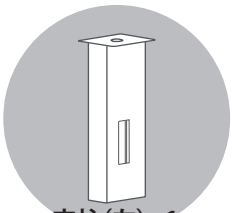
水準器 : 1

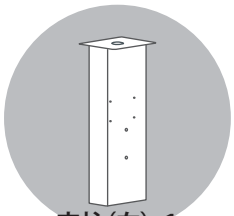
Note

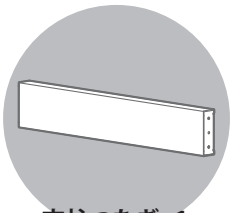
上のイラストで「＊」印がついているものは、付属品箱に入っています。

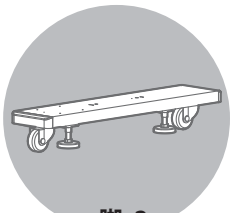
専用スタンド梱包箱の内容

同梱品がすべてそろっているか、確認します。


支柱（左）: 1

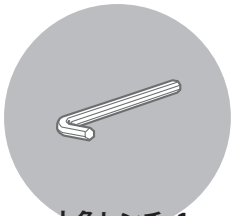

支柱（右）: 1

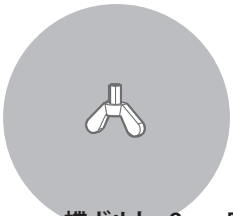

支柱つなぎ: 1


脚: 2

廃液タンク受け: 1

六角穴付きボルト: 8


六角レンチ: 1

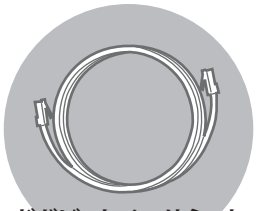

蝶ボルト: 8

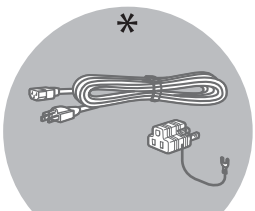
廃液タンク受け固定用ネジ: 4

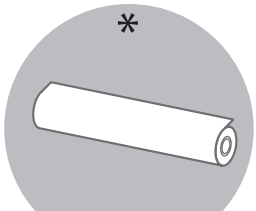
その他にご用意いただくもの

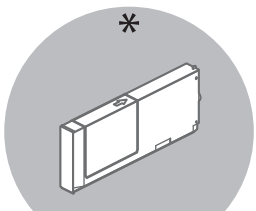
本製品の設置と初期設定には、同梱品以外に次のものが必要です。

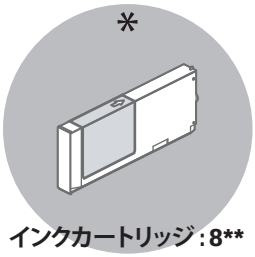
コンピューター: 1


ギガビットイーサネットケーブル: 1


*
電源ケーブル: 1

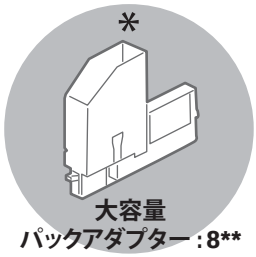

*
メディア: 1


*
洗浄カートリッジ: 8**


*
インクカートリッジ: 8**

または･･･

*
800 ml インクパック: 8**


*
大容量パックアダプター: 8**

Important!

コンピューターは、以下の条件を満たすものをご使用ください。

- OS：Windows 10 (64bit)、Windows 8/8.1 (64bit)、Windows 7 (64bit)
- CPU：Intel (R) Core (TM) i5 / i7
- メモリ：8G バイト以上
- ネットワーク：ギガビットイーサネットに対応したネットワークポート、Category 6 以降のギガビット対応イーサネットケーブルを使用

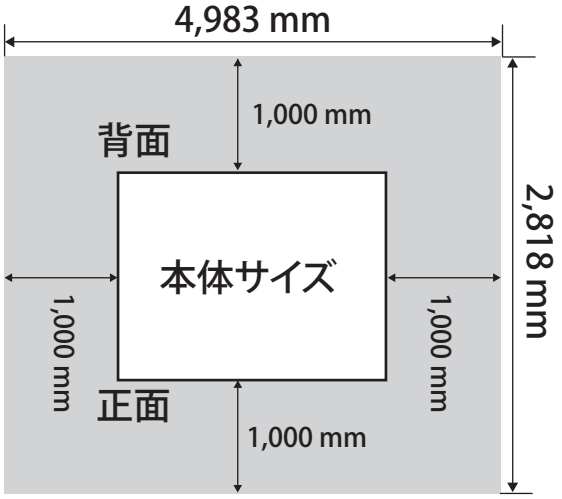
Note

- イラストで「*」印がついているものは、オプションまたはサプライ品です。
- 大容量パックアダプターへの 800ml インクパックの取り付け方法は、大容量パックアダプターの取扱説明書をご覧ください。

⚠ 警　告	かならず指定の電源ケーブルを使用してください。 指定品以外の電源ケーブルを使用すると、感電・火災の原因となります。

設置場所について

最小設置スペース



本体サイズ

幅 x 奥行:		2,983 mm x 818 mm
高さ	:	1,529 mm *1

*1　フロントカバーオープン時

設置場所の確認

本製品は、次のような場所に設置してください。

- 水平な場所
- 振動しない場所
- 湿気やホコリの少ない場所
- 温度・湿度の変化が小さい場所
- 風（冷暖房器具含む）が直接当たらない場所
- 電磁波などのノイズが少ない場所

⚠ 注　意	作業場所は換気してください。 インクの臭気により健康に悪影響をおよぼす可能性があります。 頭痛・だるさ・めまいなどを感じた場合は作業を中断し、空気の新鮮な場所にて休息してください。 吐き気などが続くときは医師の診察を受けてください。

設置環境条件

本製品は、下表の条件を満たした場所に設置してください。

電源仕様	電圧	AC 100V ～ 240V±10%
	周波数	50 / 60Hz ±1Hz
環境条件	動作環境	温度：20 ℃～ 32 ℃、湿度：40% ～ 60% 結露なきこと
	作画精度保証範囲	温度：22 ℃～ 30 ℃、湿度：40% ～ 60% 結露なきこと
	保存環境	・インク未充てん保存：6ヶ月以内 温度：-20 ℃～ 60 ℃、湿度 : 20% ～ 80% 結露なきこと ・インク充てん保存：30 日以内 *1*2 温度：5 ℃～ 30 ℃、湿度 : 20% ～ 80% 結露なきこと *1 デイリーメンテナンスシート記載のデイリーメンテナンスを行うこと。 *2 スリープモードによる常時通電、7 日ごとのインク残量確認とインクのかくはんを行うこと。

組み立て

プリンターの組み立て

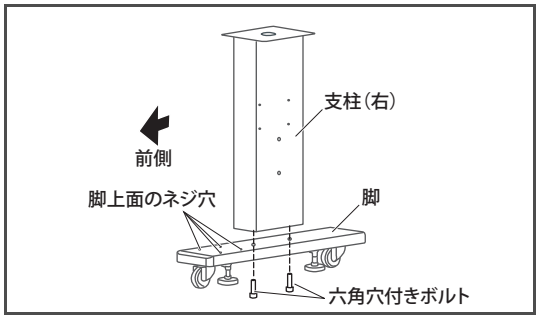
⚠ 注　意	プリンターを組み立てる場合は、かならず 4 人以上で作業してください。

専用スタンドの組み立て手順

以下の手順に従って、専用スタンドを組み立ててください。

[1]　スタンド右部を組み立てます。

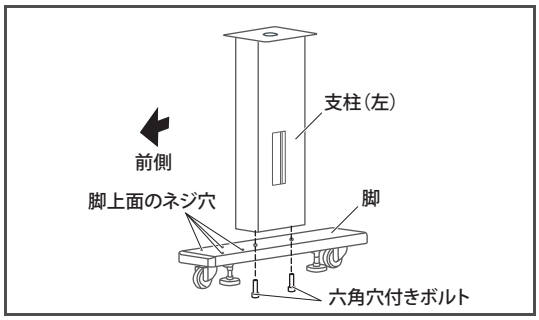
[2]



脚上面のネジ穴（4 か所）が前側に来るように、脚に支柱（右）を取り付けます。

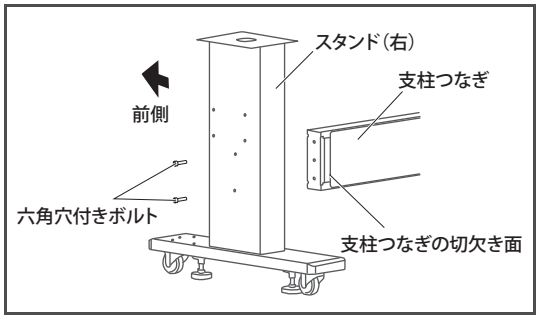
[3]　同梱品の六角レンチを使用して、六角穴付きボルト（2 本）を締め付けます。

[4]



手順 2、3 と同様にして、スタンド左部を組み立てます。

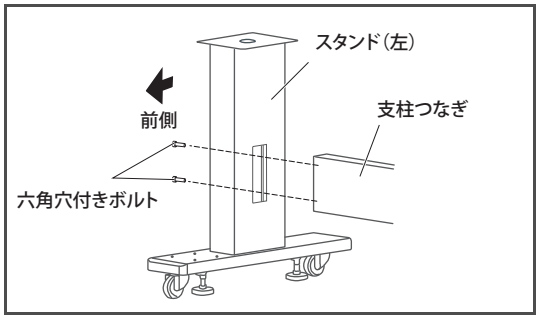
[5]



スタンド（右）と支柱つなぎを六角穴付ボルト（2 本）で固定します。

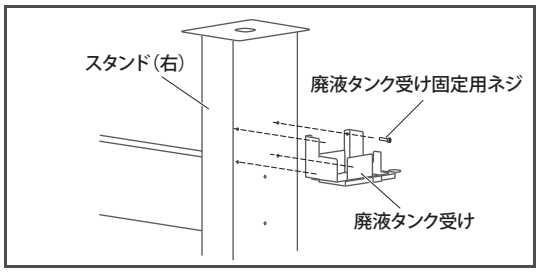
・左図のように支柱つなぎの切欠き面が後側にくるように取り付けてください。

[6]



手順 5 と同様にして、スタンド（左）と支柱つなぎを固定します。

[7]



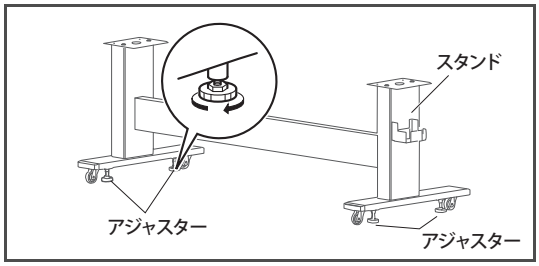
廃液タンク受けをスタンド（右）に、廃液タンク受け固定用ネジ（4 本）で固定します。

[8] スタンドを揺らすなどして、各部品がしっかり固定されているか確認します。

専用スタンドの取り付け手順

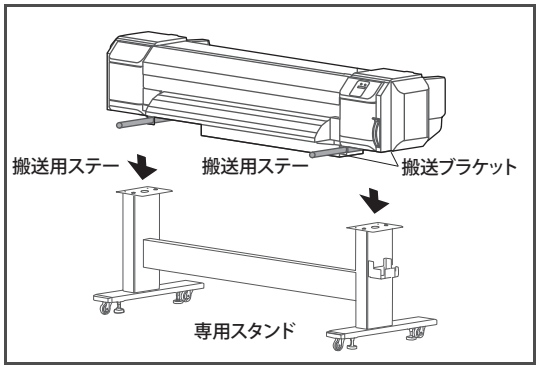
以下の手順に従って、製品本体に取り付けてください。

[1]



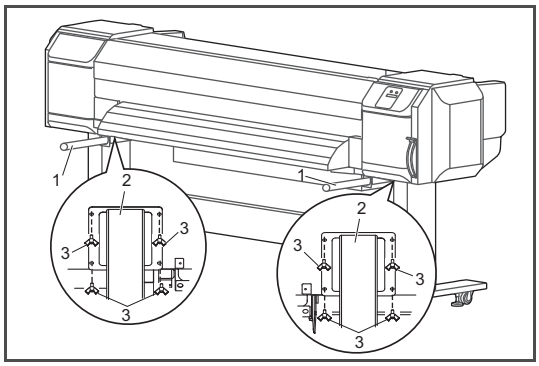
専用スタンドのアジャスター（4 箇所）を図の方向に回転させ、専用スタンドを固定します。

[2]



治具の搬送用ステー（2 本）を搬送ブラケット（左、右）に差し込み、4 人以上で持ち上げ、専用スタンドの上に載せます。

[3]



搬送用ステー（2 本）を取り外し、製品と専用スタンドを、蝶ボルト（8 本）で固定します。

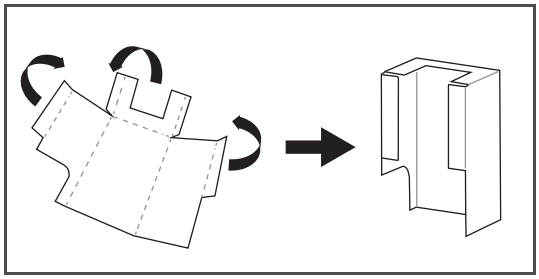
- 1：搬送用ステー
- 2：専用スタンド
- 3：蝶ボルト

廃液タンクの取り付け手順

以下の手順に従って、廃液タンクをセットしてください。

[1] **廃液タンク受けに、廃液タンクを載せます。**

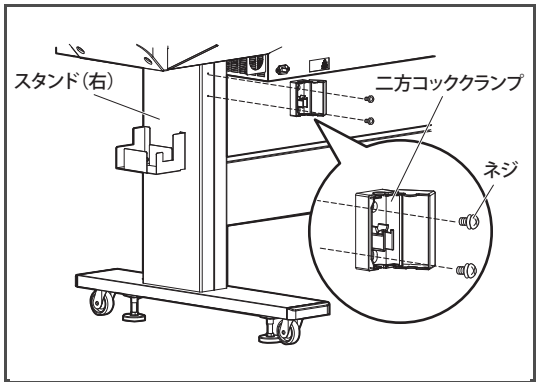
[2]



遮光カバーを組み立てます。

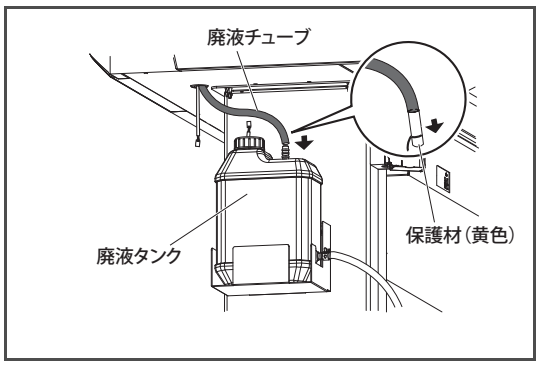
- 遮光カバーは両面テープ（遮光カバーにあらかじめ付着）で貼り合わせます。

[3]



二方コックククランプのカバーを開き、二方コックククランプをスタンド（右）の背面側にネジ（2 本）で固定します。

[4]

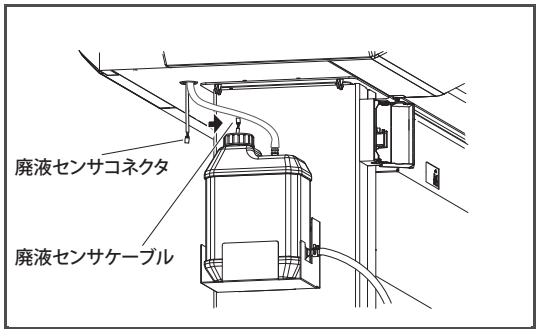


廃液タンクに廃液チューブを取り付けます。

- 廃液タンク受けに、廃液タンクを載せます。
- 廃液チューブの保護材（黄色）を引き抜いてから、廃液タンクに廃液チューブを差込みます。

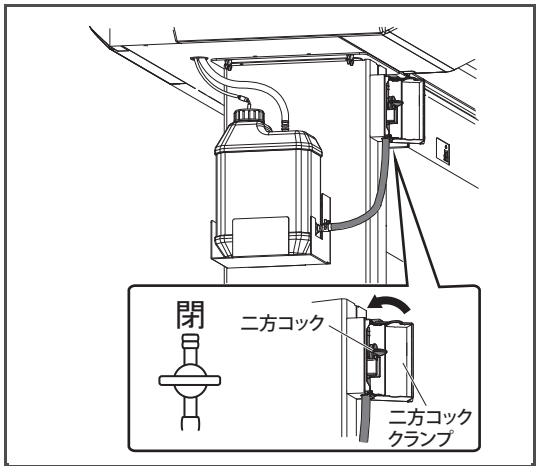
Important!

廃液チューブが、廃液タンクの口にしっかりと差し込まれていることを確認してください。
しっかりと差し込まれていない場合、インク漏れが発生する恐れがあります。



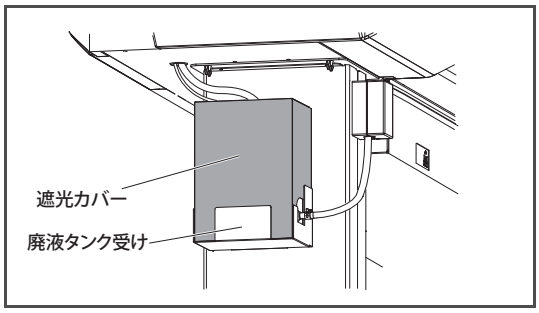
廃液センサケーブルを廃液センサコネクタに差し込みます。

[5]



二方コックが閉じていることを確認し、二方コッククランプに収納してカバーを閉じます。

[6]



遮光カバーを廃液タンクに取り付けます。

- 遮光カバーは、廃液タンク受けの内側に差し込みます。

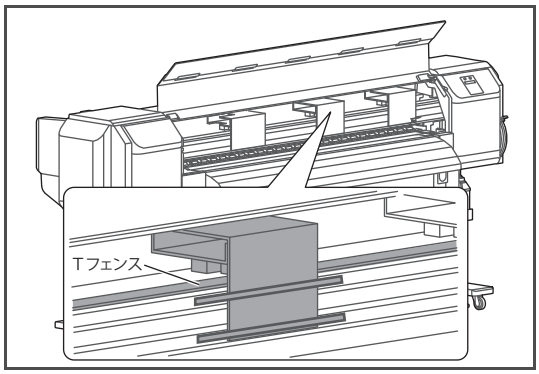
保護材の取り外し

以下の手順に従って、全ての保護材を取り外してください。

[1] 各カバーに貼られているテープを全て剥がします。

[2] フロントカバーを開け、テープで固定されている保護材を全て剥がします。

[3]

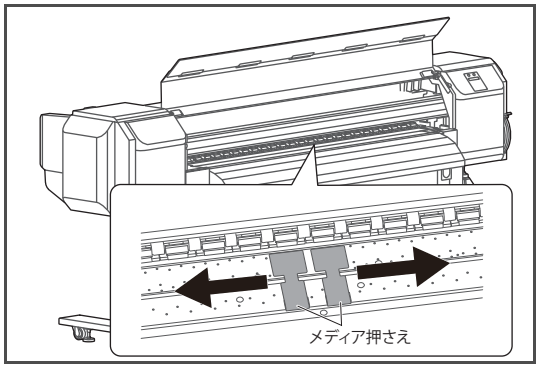


テープを剥がし、T フェンスに当たらないよう注意しながら、ベア倒れ防止材とベア押えを取り外します。

Important!

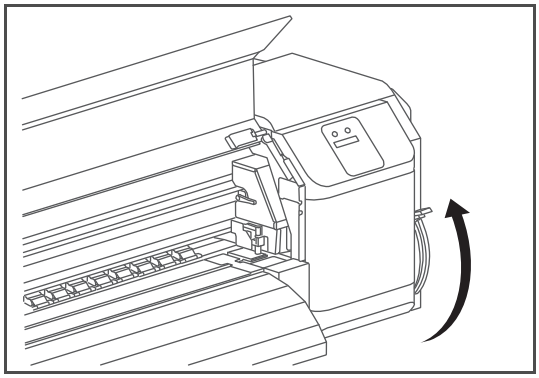
T フェンスを損傷しないよう作業してください。損傷すると、作画不良の原因となります。

[4]



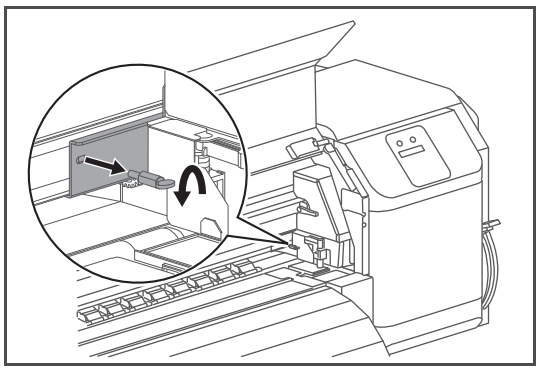
テープを剥がし、メディア押さえプレートを左右の端に移動します。

[5]



メディアセットレバーを上げます。

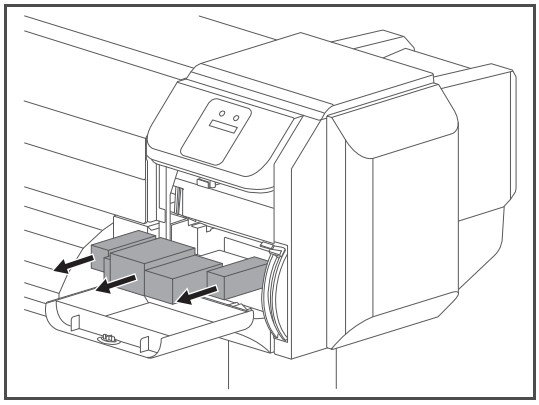
[6]



ツマミネジを取り外し、キャリッジ固定材を取り外します。

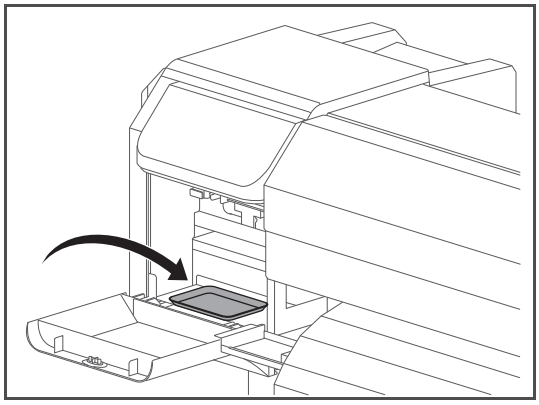
[7] フロントカバーを閉じます。

[8]



製品右側のメンテナンスカバーを開けて、緩衝材を取り除きます。
・メンテナンスカバーを閉じます。

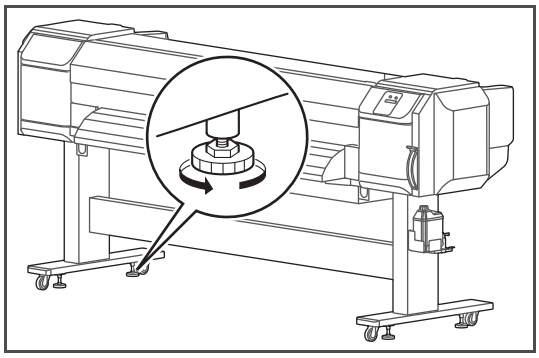
[9]



製品左側のメンテナンスカバーを開けて、トレイをセットします。
・メンテナンスカバーを閉じます。

水平の確認

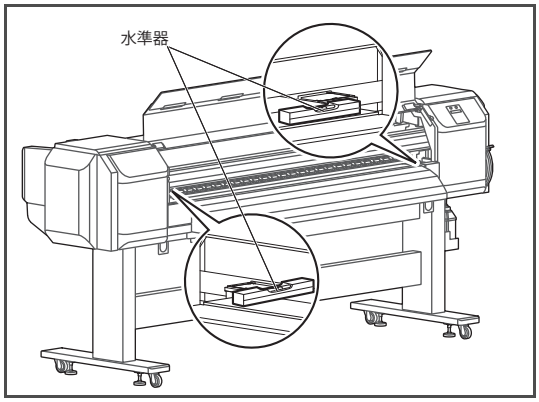
[1]



アジャスター（4 箇所）を図の方向に回転させて、本製品を設置場所に固定します。

[2] フロントカバーを開けます。

[3]

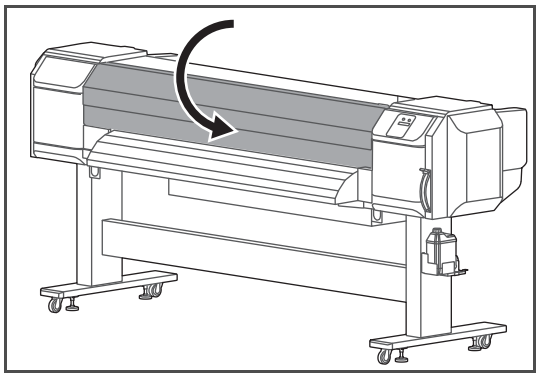


プラテンの両端に水準器をセットします。
・プリンターが水平になるようにアジャスターで調整してください。

ケーブルの接続

電源ケーブルの接続

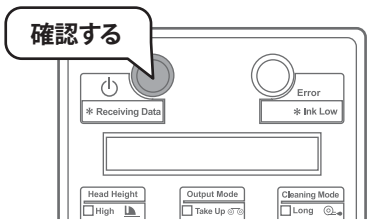
1. ケーブルを接続する前に ...



フロントカバーを閉じます。

2. 電源ケーブルの接続

[1]

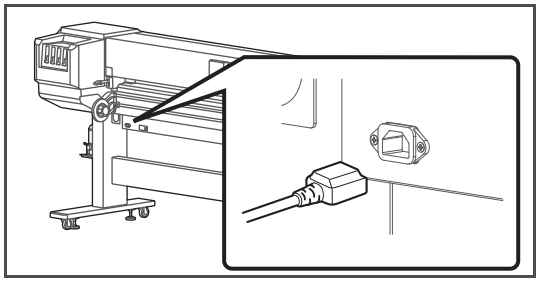


プリンターの電源がオフになっていることを確認します。

Note

電源ボタンが奥に押し込まれているときは、オンになっています。
もう一度、電源ボタンを押して、オフにしてください。

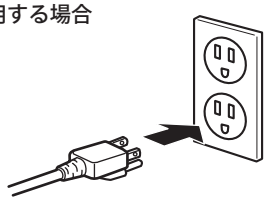
[2]



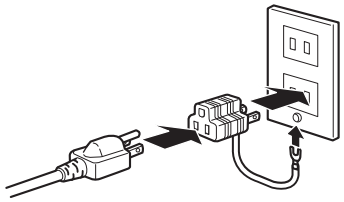
電源ケーブルをプリンターに接続します。

[3]

3芯プラグを使用する場合



3芯2芯変換コネクタプラグを使用する場合



電源ケーブルのプラグをコンセントに正しく差し込みます。

セットアップ

セットアップ手順の流れ

アクティベーションを行う

本製品のアクティベーションを、操作パネルで行います。

初期設定を行う

操作パネルの表示言語、単位を設定します。

初期充てん

本製品にインクカートリッジ（インクパック）を取り付け、インクを充てんします。

テスト用メディアをセットする

ノズルチェックを印刷するメディアをセットします。

ノズルチェックとクリーニング

ノズルチェックを印刷し、ノズル抜けがなくなるまでヘッドクリーニングを行います。

コンピューターとの接続

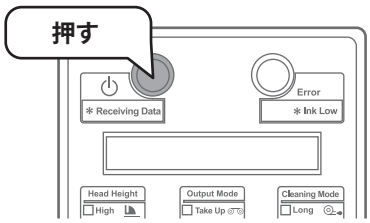
プリンターのIPアドレスを、操作パネルで入力します。
MSM (MUTOH Status Monitor)のインストールを行い、MSM上で設定を行います。

セットアップ完了！

電源をオンにする

[1] フロントカバーを閉じます。

[2]



プリンターの操作パネルの電源ボタンを押します。
- 青色のランプが点灯します。
- 本製品が初期動作を開始します。

アクティベーションを行う

本製品は、初回電源オン時にアクティベーションを行う必要があります。

Activation required

左のメッセージが表示されたらアクティベーションを行ってください。アクティベーションには 2 種類の方法があります。お好みの方法をお選びください。

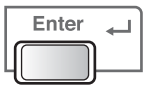
☞本書 「操作パネルから設定する場合」P. 15
☞本書 「インターネットから設定する場合」P. 16

操作パネルから設定する場合

[1]

Activation required

左のメッセージが表示されたら、[Enter] キーを押します。

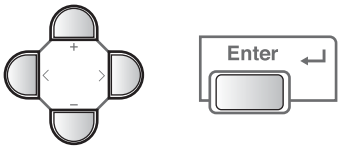


[2]

0000-0000-0000-0000

16 桁のアクティベーションコードを入力します。
- [+] キー：設定値を増加させます。
- [-] キー ：設定値を減少させます。
- [<] キー：カーソルが前の設定値に移動します。
- [>] キー：カーソルが次の設定値に移動します。

入力後、[Enter] キーを押します。



Note

アクティベーションコードは販売店から E メールなどで入手してください。

[3]

Reboot a printer

- 左のメッセージが表示されたら、電源をオフにしてください。
- しばらく待ってから電源をオンにして、再起動してください。

Activation required

左のメッセージが表示されたら、「プリンタ・アクティベーションガイド」に従ってアクティベーションを行ってください。

Note

「プリンタ・アクティベーションガイド」とアクティベーションコードは、下記の URL から MUTOH Club へアクセスし、「新規登録」からユーザー登録を行うと入手できます。

https://club.mutoh.co.jp/mutoh/guser/

初期設定を行う

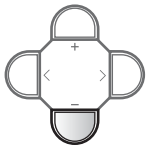
表示にしたがって初期設定を行ってください。

1. 表示言語と単位の設定

[1]

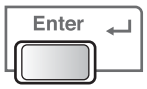
Language : English

[-] キーを押して、「Japanese」を選択します。



Language : Japanese

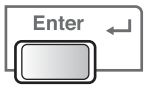
[Enter] キーを押します。



[2]

Temp : Celsius [˚C]

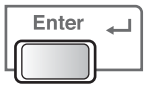
[Enter] キーを押します。



[3]

Length : mm

[Enter] キーを押します。



[4]

イニシャルチュウ

本製品が初期動作を開始します。

インクの初期充てん

必要なもの：

- クリーニングワイパー：1 個
- 洗浄液カートリッジ：8 本
- インクカートリッジ（またはインクパック）：8 本
  4 色設定：
  ブラック（K)、シアン（C)、マゼンタ（M)、イエロー（Y） 各 2 本
  5 色設定：
  ブラック（K)、シアン（C)、マゼンタ（M)、イエロー（Y） 各 1 本
  バーニッシュ（Va)、洗浄液（Cl）各 2 本
  6 色設定：
  ブラック（K)、シアン（C)、マゼンタ（M)、イエロー（Y） 各 1 本
  バーニッシュ（Va)、ホワイト（Wh）各 2 本

Note

- インクパックを使う場合は、大容量パックアダプターが必要です。
- 大容量パックアダプターの取り扱い方法につきましては、大容量パックアダプターの取扱説明書を参照してください。

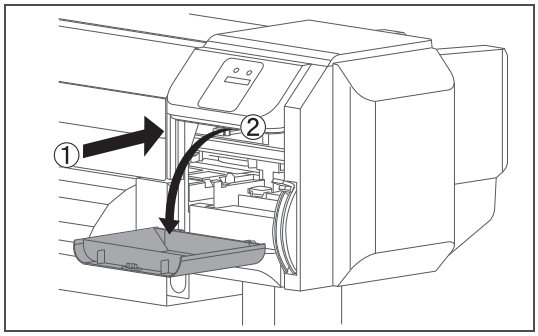
1. クリーニングワイパーを取り付ける

[1]

ワイパーヲ　トリツケマシタカ?　　ー> No

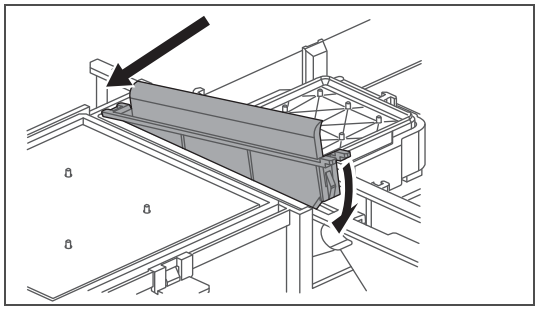
操作パネルに左のメッセージが表示されます。
- **[Enter]** キーを押します。

[2]



製品右側のメンテナンスカバーを開けます。

[3]



以下の手順に従って、クリーニングワイパーを取り付けます。
- クリーニングワイパーの奥側を挿入します。
- クリーニングワイパーのツメ部をカチッと音がするまで押し込みます。

Important!

クリーニングワイパーのゴム部分を素手で触れないように注意してください。皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。

[4] メンテナンスカバーを閉じます。

[5]

ワイパーヲ　トリツケマシタカ?　ー> イイエ

ワイパーヲ　トリツケマシタカ?　ー>　ハイ

- **[+]** キーまたは **[-]** キーを押して、「ワイパーヲ　トリツケマシタカ？　ー>ハイ」を選択します。
- **[Enter]** キーを押します。

2. 初期洗浄を行う

[1]

```
インクジュウテンカイシ    ->          Enter
```

左のメッセージが表示されたら、[Enter] キーを押します。

[2]

```
インク　クミアワセ　＊ショク
```

- [+] キーまたは [-] キーを押して、使用するインク色の組み合わせを選択します。
- [Enter] キーを押します。

[3]

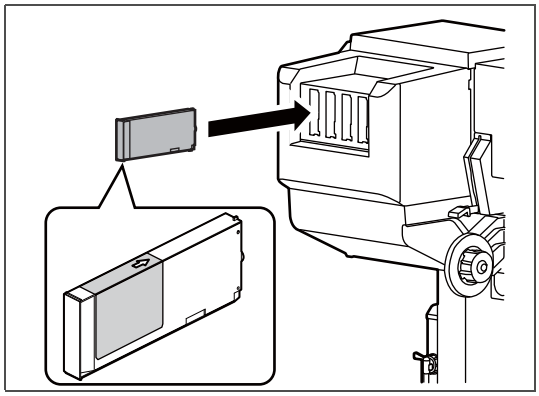
```
ハイエキヲ　カラニシテクダサイ　　ー＞E
```

廃液タンクが空になっていることを確認し、[Enter] キーを押します。

```
センジョウカートリッジ　ヲ　セット
```

操作パネルに左のメッセージが表示されます。

[4]



すべてのインクカートリッジスロットに洗浄液カートリッジを取り付けます。

- 矢印マークを上にしてください。
- 奥までしっかり差し込んでください。

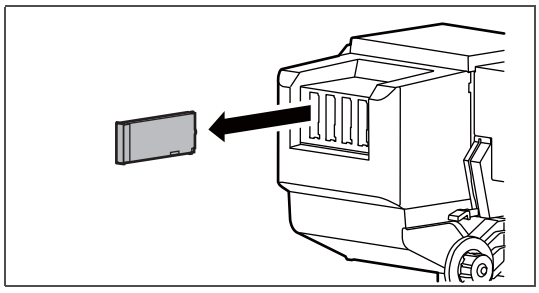
```
ヘッドセンジョウチュウ
```

洗浄液の充てんを開始します。

```
カートリッジ　ヲ　ヌイテクダサイ
```

洗浄液の充てんが終わると、左のメッセージが表示されます。

[5]



すべての洗浄液カートリッジを取り外します。

```
ヘッドセンジョウチュウ
```

洗浄液の排出を開始します。

[6]

```
ハイエキヲ　カラニシテクダサイ　　ー＞E
```

廃液を受ける空容器を用意します。

3. 廃液タンクを空にする

⚠ 警　告

- 廃液は直射日光を避け、冷暗所に保管してください。
- 廃液は火気や高温のものから遠ざけてください。
- 廃液は少量であっても、他の物質、液体と混合しないでください。
  他の物質（酸化剤など）と混合すると、発熱の原因となります。

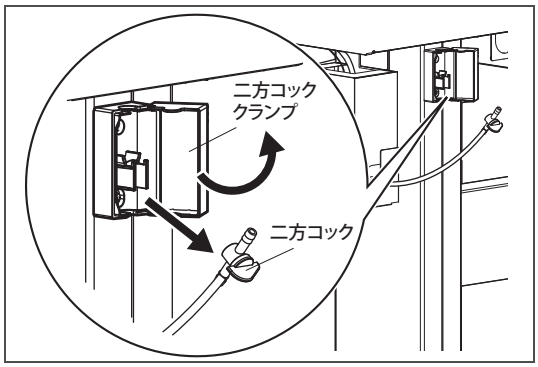
- 廃液は HDPE 製かつ、遮光性がある容器で保管してください。
- 廃液を長期保管をする場合は、完全密封状態とせず容器に通気口を設けてください。

⚠ 注　意

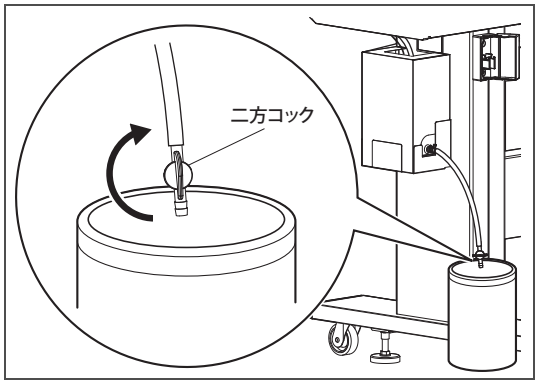
UV 硬化インクおよび廃液が皮膚や目に付着すると、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。
作業を行うときは、かならず付属の手袋（もしくは耐溶剤性の手袋）とゴーグルを着用し、インクが付着しないよう注意してください。

[1] 廃液を受ける空容器を用意します。

[2] いらないメディアなどを廃液タンクの下の床に敷きます。

[3] 

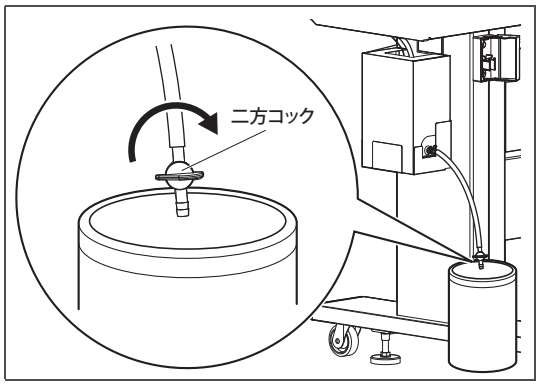
二方コッククランプのカバーを開き、二方コックを取り外します。

[4] 

二方コックの先端を空容器に入れた後、二方コックを開き、空容器に廃液を移します。

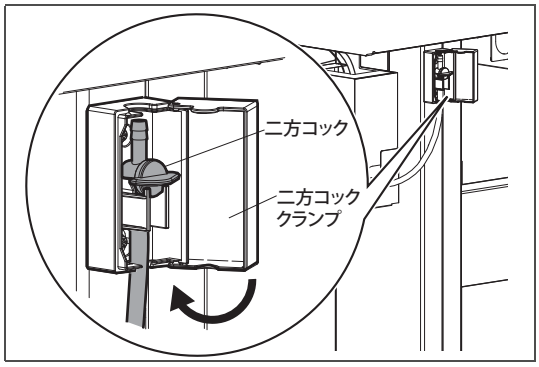
Important!

二方コックを開き、空容器に廃液を移す場合、廃液が飛び散ることがあります。
二方コックの先端を空容器に入れて処理を行ってください。

[5] 

廃液を空容器に移し終わったら、二方コックを確実に閉めます。

[6] 二方コックの口を布等で拭き取ります。

[7] 

二方コックを二方コッククランプに収納し、カバーを閉じます。

[8]

ハイエキヲ　カラニシテクダサイ　　ー＞E

[Enter] キーを押します。

[9] 廃液は産業廃棄物として処理します。

⚠ 警　告

- プリンターから出る廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。
  廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。
  廃液処理業者に処理を委託してください。
- 本製品から出る廃液は水生生物に対し有害です。生活排水や自然水系への流出を防いでください。

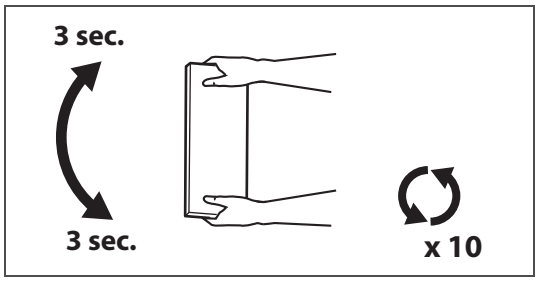
4. 初期充てんを行う

[1]

インクカートリッジ　ヲ　セット

操作パネルに左のメッセージが表示されます。

[2]



新しいインクカートリッジを用意し、下記の方法でインクをかくはんします。

- 差し込み口を上に向けて 3 秒待ちます。
- 次に差し込み口を下に向けて 3 秒待ちます。
- 10 回繰り返します。

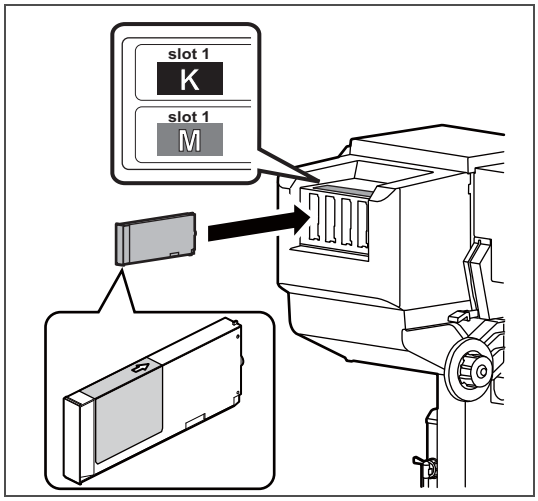
以下のインクカートリッジが必要です。

4 色使用時	5 色使用時	6 色使用時
•ブラック (K)：2 本	•ブラック (K)：1 本	•ブラック (K)：1 本
•シアン (C)：2 本	•シアン (C)：1 本	•シアン (C)：1 本
•マゼンタ (M)：2 本	•マゼンタ (M)：1 本	•マゼンタ (M)：1 本
•イエロー (Y)：2 本	•イエロー (Y)：1 本	•イエロー (Y)：1 本
	•バーニッシュ (Va)：2 本	•バーニッシュ (Va)：2 本
	•洗浄液 (Cl)：2 本	•ホワイト (Wh)：2 本

Note

バーニッシュインクと洗浄液は、かくはんせずにご使用いただけます。

[3]



インクカートリッジをプリンターに取り付けます。

- 本製品のラベルとインクカートリッジの色を合わせてください。
- 矢印マークを上にしてください。
- 奥までしっかり差し込んでください。

インクジュウテンチュウ　　** %

インク充てんを開始します。

⚠ 注　意

インク充てん中に、以下の動作を行わないでください。

- 製品の電源をオフにする
- 製品の電源ケーブルを抜く
- フロントカバーを開ける
- メンテナンスカバーを開ける
- メディアセットレバーを上げる

[4]

メディア　ナシ

インク充てんが完了すると、左のメッセージが表示されます。

- インク充てんが完了しました。

テスト印刷

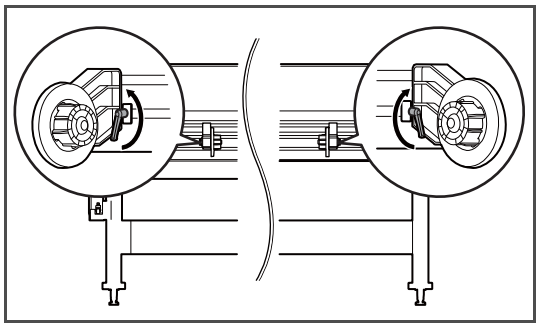
プリンターにメディアをセットする

Important!

メディアをセットする場合は、セットするメディアに合わせて、2 人以上で作業することをおすすめします。

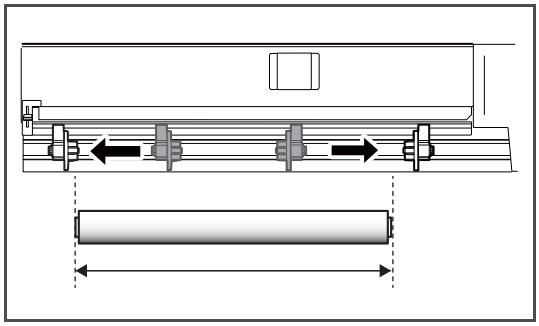
1. ロール紙受けにメディアを取り付ける

[1]



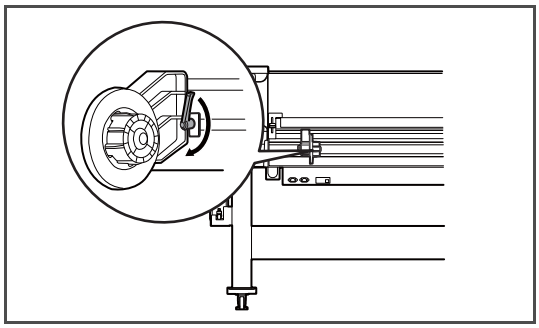
プリンター背面の左右のロール紙受けの固定レバーを緩めます。

[2]



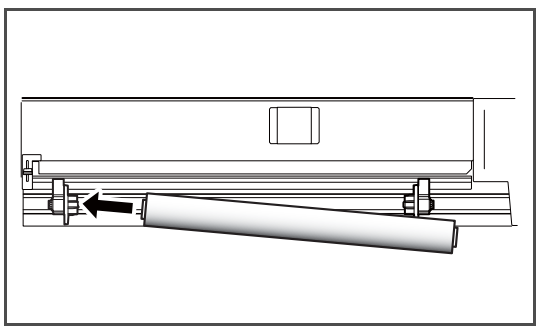
左右のロール紙受けの間隔を、セットするロール紙幅より大きく広げます。

[3]



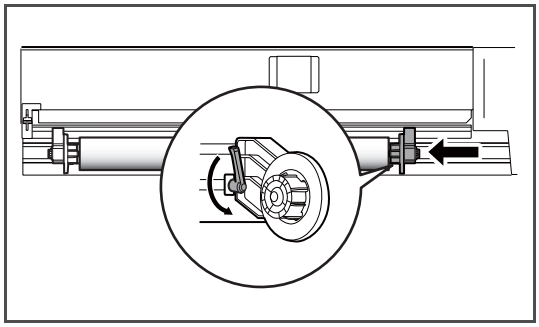
ロール紙受け（左）の固定レバーを締め付け、ロール紙受け（左）を固定します。

[4]



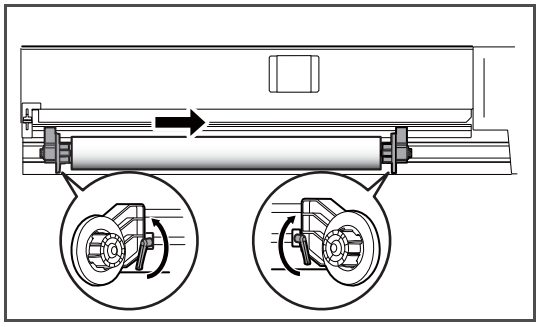
ロール紙をロール紙受け（左）に取り付けます。

[5]



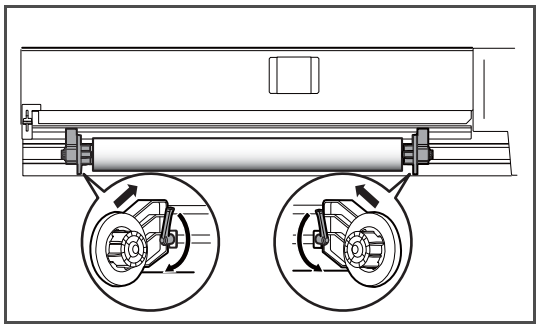
ロール紙受け（右）をロール紙に取り付け、固定レバーを締め付けます。

[6]



ロール紙受け（左、右）の固定レバーを緩め、ロール紙を製品中央に移動させます。

[7]



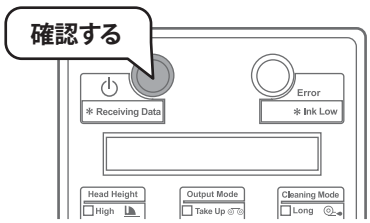
ロール紙受けをプリンター側に押しつけながら、固定レバーを締め付けます。

Note

固定レバーを締め付けるときに、ロール紙受けをプリンター側に押し付けてください。
押し付けないと、ロール紙の重みでレバーが完全にロックできない場合があります。

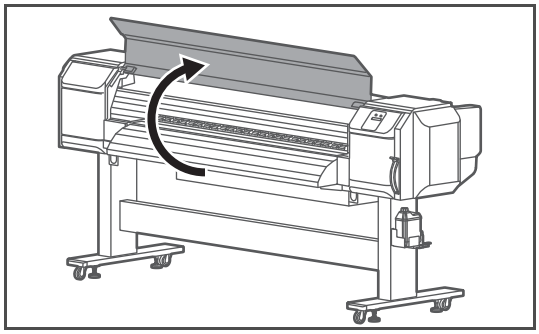
2. プリンターにメディアをセットする

[1]



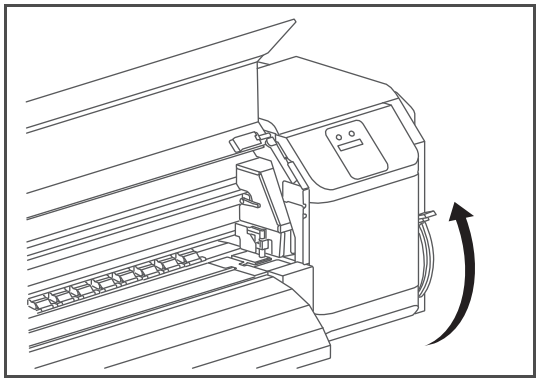
プリンターの電源をオンになっていることを確認します。

[2]



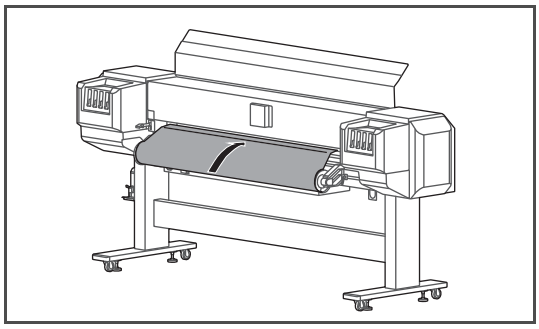
フロントカバーを開きます。

[3]



メディアセットレバーを上げます。

[4]

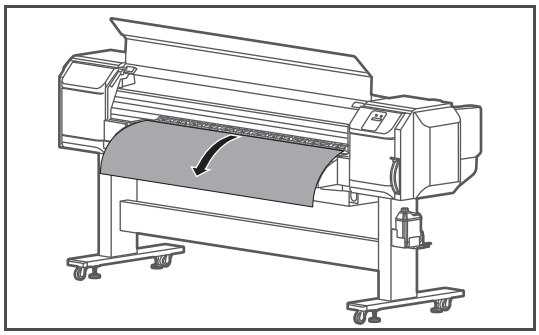


メディアを給紙スロットに差し込みます。

Note

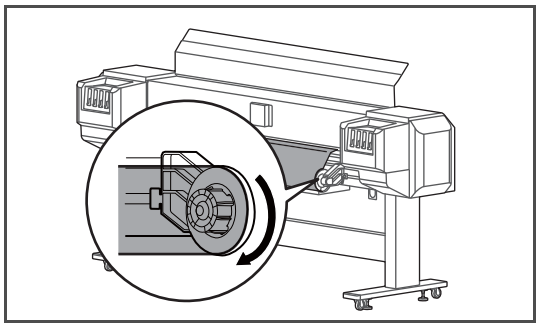
ロール紙端に巻乱れがある場合は、巻きなおしてからセットしてください。

[5]



正面側の給紙スロットから、メディアを約 1 m 引き出します。

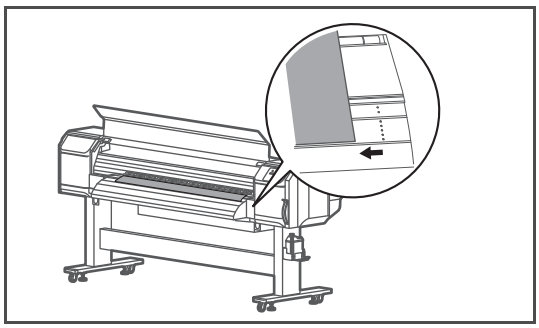
[6]



メディア先端を押さえながら、ロール紙受けのフランジを回してロール紙を少し巻き戻し、メディアのたわみおよび斜行を取り除きます。

Note

メディアを巻き戻している途中で手を放すと、メディアが給紙スロットから抜けて製品背面側に落ちることがあります。

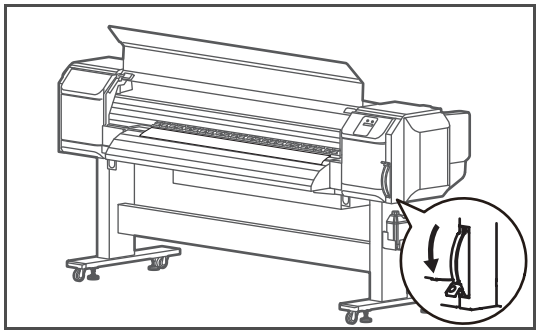


メディアの右端がメディアセット目安よりも右側に入らないようにしてください。印刷品質に影響する場合があります。

3. メディアをセットしたら・・・

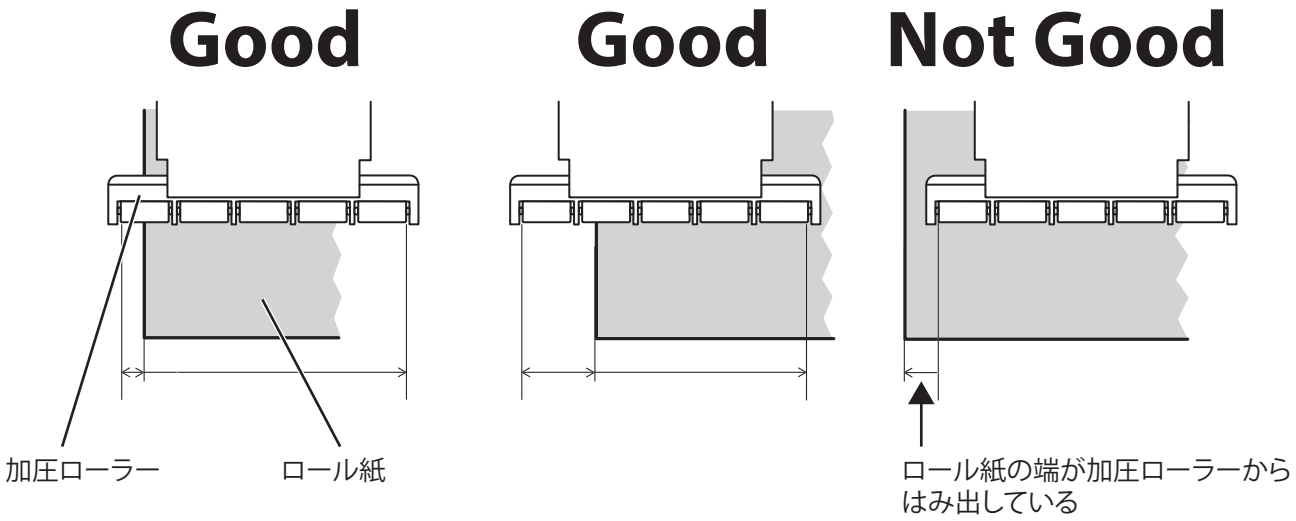
[1] **メディアヲセットシテクダサイ**

操作パネルに「メディアヲセットシテクダサイ」と表示されます。

[2] 

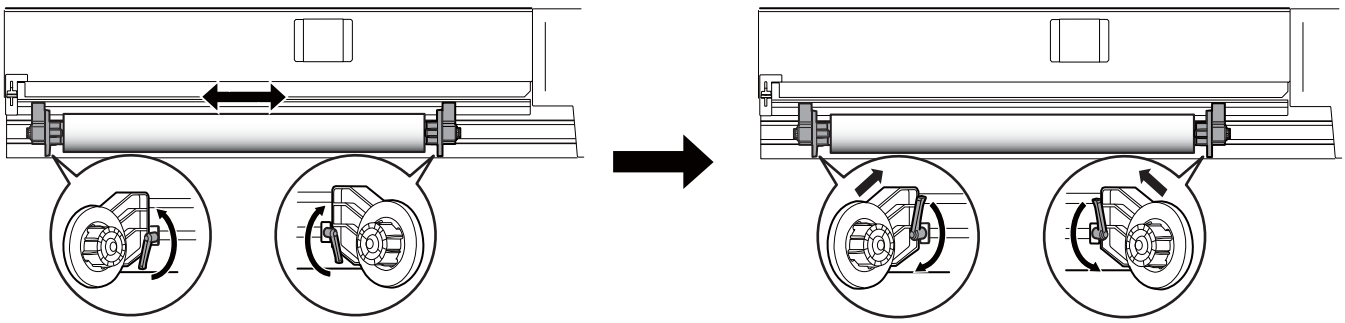
メディアセットレバーを下げます。

[3] メディアの端が加圧ローラーに適切に押さえられていることを確認します。



[4] メディアが適切に押さえられていない場合は、以下の手順に従って、メディアの位置を調整してください。

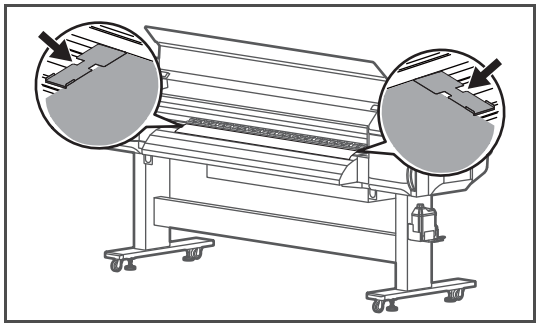
- メディアセットレバーを上げます。
- ロール紙受け（左、右）の固定レバーを緩め、ロール紙を左または右に動かします。
- ロール紙受けをプリンター側に押しつけながら、ロール紙受け（左、右）の固定レバーを締め付けます。



Note

- メディアが適切に押さえられていない場合、印刷時にメディアのズレ、シワ等が発生する恐れがあります。
- 固定レバーを締め付けるときに、ロール紙受けをプリンター側に押し付けてください。
  押し付けないと、ロール紙の重みでレバーが完全にロックできない場合があります。

[5]

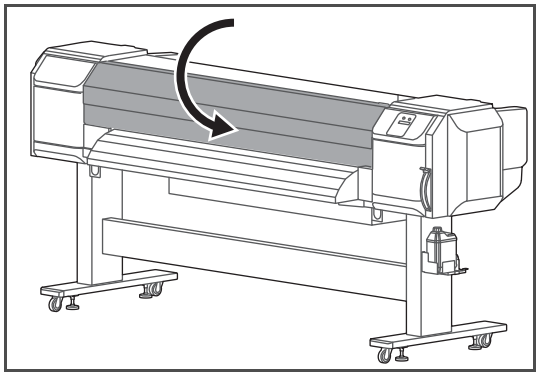


メディアの両端にメディア押さえをセットします。

Important!

初期設定では、メディアの端から **5 mm** の部分から印刷を行います。メディア押さえは、メディアと重なる部分が **5 mm** 未満になるようにセットしてください。

[6]



フロントカバーを閉じます。

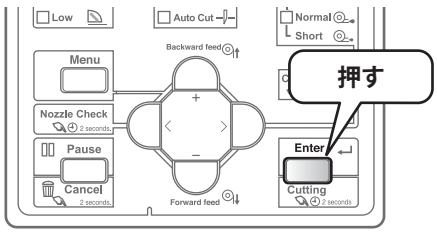
[7]

ユーザ: Type ** OK?

操作パネルに「ユーザ： **Type ** OK?**」と表示されます。

- 使用するユーザ定義を [+] キー / [-] キーで選択します。

[8]



[Enter] キーを押して、メディアイニシャルを実行します。

- メディアセットを終了します。

ノズルチェックとクリーニング

ノズルチェックを印刷し、ノズル抜けがあるときは、クリーニングをしてください。

本製品のノズルチェックには下記の種類があります。

- ノズルチェック：ノズルチェックを印刷します。
- ノズルチェック B：一部のノズルチェックパターンの背景に色をつけて印刷します。

Note

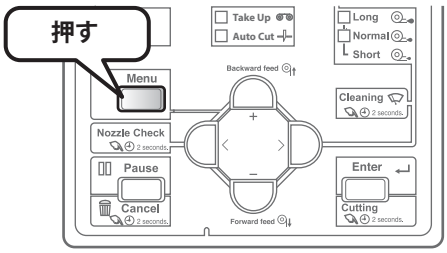
- 6 色設定時のみ、メニューに「ノズルチェック B」を表示します。
- ホワイトインクを使用する場合は、有色メディアや、透明または半透明のメディア（OHP フィルム、トレーシングペーパーなど）をおすすめします。

1. ノズルチェックの手順

[1] **ノズルチェックで使用するメディアをセットします。**

☞「テスト印刷」P. 22

[2] **[Menu] キーを押します。**



[3]

メニュー4：	テストサクガ >

- **[-] キーを何回か押して、左の表示にします。**
- **[>] キーを押します。**

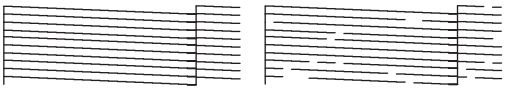
[4]

テスト1：	ノズルチェック

テスト2：	ノズルチェックB

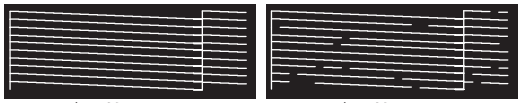
- **[Enter] キーを押します。**
- **ノズルチェック B を選択する場合は、[-] キーを押してノズルチェック B を表示してから [Enter] キーを押してください。**
- **ノズルチェックを印刷します。**

[5] **パターンを確認します。**



ノズル抜けなし　ノズル抜けあり

- **ノズル抜けがある場合は、「クリーニングの手順」P. 29 に進みます。**
- **ノズル抜けがない場合は、「スリープモード」P. 31 に進みます。**



ノズル抜けなし　ノズル抜けあり

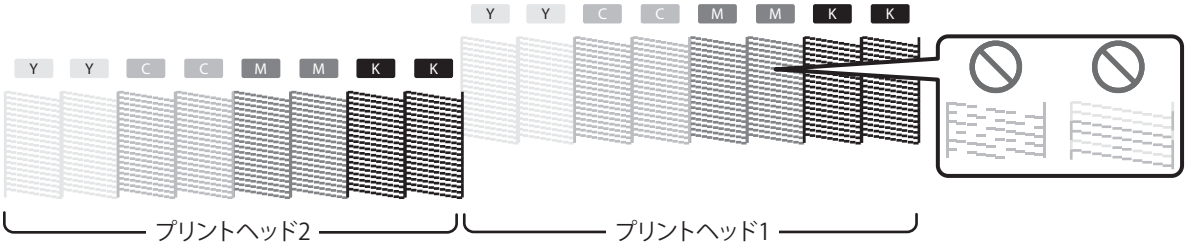
- **ノズルチェック B の場合、ノズルチェックパターンの背景の一部が黒くなります（ホワイトのパターンの一部）。**

Note

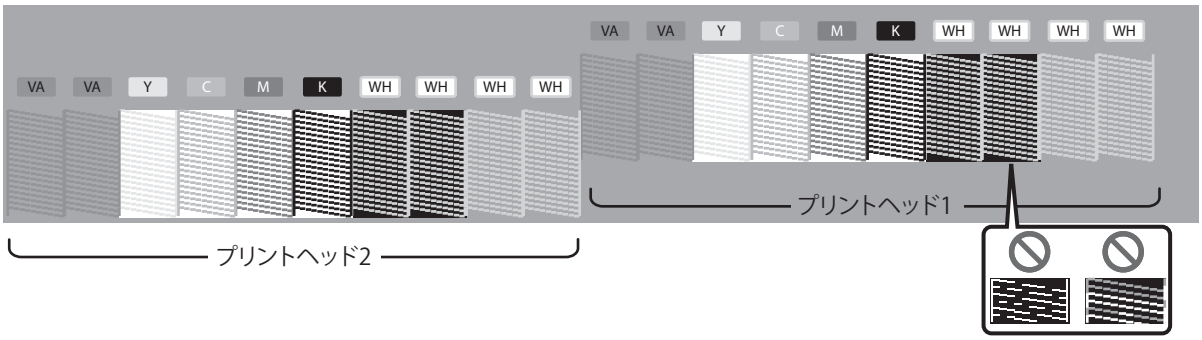
- CMYK のノズルは背景を白インクで印刷します。
- バーニッシュ（およびホワイトの一部）のノズルは背景なしになります。

Note

下図は 4 色使用時のノズルチェックの印刷例です。



下図は 6 色使用時のノズルチェック B の印刷例です。この例では、背景に色がつかない部分をグレーにしています。



Note

パターンの横に、プリンター情報（印刷時刻、シリアル番号、ファームウェアバージョン）が印刷されます。

Important!

初期充てん終了直後にノズルチェックを行うと、次のような現象が発生する場合があります。

- **印刷した線がかすれる**
- **部分的に印刷されない**

このような場合には、取扱説明書 P.88「メニュー 5：クリーニング」に従って、微量充てんを行ってから、印刷結果を確認してください。

微量充てんを行っても印刷結果に変化が無い場合は、製品を 1 時間以上放置後、再度クリーニングまたは微量充てんを行ってから印刷結果を確認してください。

それでも印刷結果に変化が無い場合は、「お問い合わせ先」P. 39 までご連絡ください。

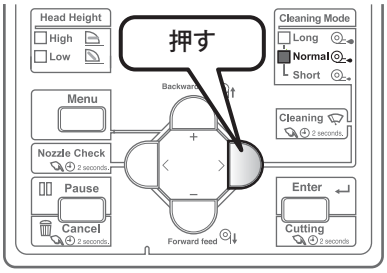
Note

コンピューターと接続して印刷を行う前に、IP アドレス、サブネットマスクとゲートウェイの設定を行ってください。

☞取扱説明書「初期設定 3：IP アドレス」、「初期設定 4：サブネットマスク」、「初期設定 5：ゲートウェイ」P.93

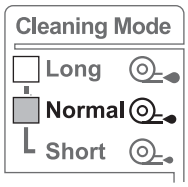
2. クリーニングの手順

[1]



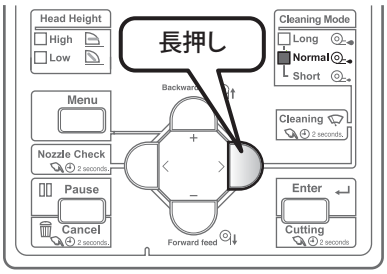
[Cleaning] キーを押して、[Cleaning Mode] ランプが [Normal] で点灯しているようにします。

・クリーニングモードが「通常」に設定されます。



通常クリーニング

[2]



[Cleaning] キーを 2 秒以上長押しします。

・クリーニングを開始します。

[3] もう一度、ノズルチェックを行います。

☞「ノズルチェックの手順」P. 27

・ノズル抜けが直らない場合は、通常クリーニングを繰り返してください。
「微量」「強力」「微量充てん」「初期充てん」については、取扱説明書「ヘッドクリーニング」P.120 を参照してください。

MUTOH Status Monitorのインストール

コンピューターと接続して印刷を行う前に、かならず MUTOH Status Monitor (MSM) をインストールしてください。
MSM のインストール後は、MSM の取扱説明書に従って、初期設定とプリンター登録、MPS (MUTOH Print Server) の設定を行ってください。
☞ **MUTOH Status Monitor 取扱説明書「初期設定」、「MUTOH Print Server」**

各種ソフトウェアやマニュアルは MUTOH Club からダウンロードすることができます。

- MUTOH Club からダウンロードできるソフトウェアやマニュアルは以下のとおりです。

MUTOH Status Monitor (MSM)	本製品のステータス情報を確認したり、各種設定を変更することができます。 テスト作画を行うこともできます。
マニュアル （プリンターとソフトウェア）	以下のマニュアルが PDF 形式で入っています。 • VJ-1638UR Mark Ⅱ 取扱説明書「使い方とメンテナンス方法」 • VJ-1638UR Mark Ⅱ スタートアップガイド（本書） • MUTOH Status Monitor 取扱説明書

Important!

- **MSM は、かならず MUTOH Club からダウンロードされたものをご使用ください。**
- **本製品をお使いの場合は、かならず MSM の MPS 機能 (MUTOH Print Server) をご使用ください。**
  使用しない場合、本製品のスペックを最大限に発揮できない恐れがあります。
- **印刷するときは、RIP の出力先を MPS 機能に切り替えてください。**

[1] **本製品に同梱の「ユーザー登録と各種ダウンロードのお願い」シートを見ながら、ユーザー登録とダウンロードを行います。**

[2] **ダウンロードした zip ファイルを解凍し、その中の setup.exe をダブルクリックします。**

スリープモード

本製品を使わないときは、電源をオフにせず、かならずスリープモードにしてください。スリープモードにしないと本体内部のインクが沈殿・凝固し、画質不良や故障の原因になります。

また、スリープモードにする前は、操作パネルの指示に従って、かならずデイリーメンテナンスを行ってください。

スリープモード中は以下の動作を行います。

- プリンター内にあるインクの一部を循環する
- インクの微量充てん

Important!

スリープモードを 1 週間以上継続する場合は、週 1 回、以下を行ってください。

- **インクの残量を確認し、「インクスクナイ」が表示されていたらインクを交換してください。**
- **インクカートリッジをかくはんしてください。**

手順

[1] **製品の動作状態について以下を確認します。**

- **フロントカバー、メンテナンスカバーが閉じていること。**
- **メディアが取り外されていること。**
- **インクの残量が十分にあること。**
- **廃液タンクの空き容量が十分にあること。**

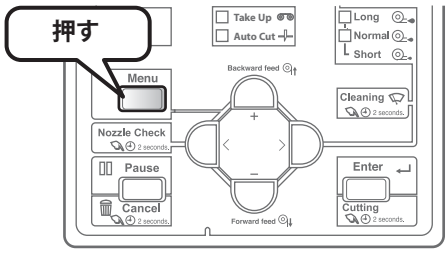
Important!

長時間スリープモードを継続する場合は、廃液タンクから廃液を排出してください。

[2] **デイリーメンテナンスに必要なものを準備します。**

☞ **VJ-1638UR Mark Ⅱ デイリーメンテナンスシート**

☞ **取扱説明書「デイリーメンテナンスの準備」P.111**

[3] 

[Menu] キーを押します。

[4]

メニュー1 : スリープモード >

[>] キーを押します。

[5]

スリープモード : スタート

[Enter] キーを押します。

[6]

スリープモード ヲ カイシシマスカ?

[Enter] キーを押します。

[7]

デイリーメンテナンス : Start

[Enter] キーを押します。

	シバラクオマチクダサイ	• キャリッジとクリーニングワイパーが、メンテナンス位置に移動します。
[8]	デイリーメンテナンス : End	左のメッセージが表示されます。 • デイリーメンテナンスを行います。 ☞ VJ-1638UR Mark Ⅱ デイリーメンテナンスシート ☞ 取扱説明書「デイリーメンテナンスを行う」P.113 • メンテナンス終了後、[Enter] キーを押します。
	クリーニングチュウ ** %	自動で微量クリーニングを行います。
	Enter デ サイカイシマス	スリープモードを開始します。 • スリープモードから復帰する場合は、[Enter] キーを押します。

Note

- スリープモード中は電源ボタンが青色に点滅します。
- 本製品は、スリープモードからの復帰時に、自動でヘッドクリーニングや充てんを行うことがあります。動作は経過時間により異なります。この動作はスリープモードの設定によるものではなく、本製品の自動メンテナンス機能によるものです。

安全にお使いいただくために

大切なお知らせ

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

受信障害について

本製品は弱い電波を出すので正しく設置・使用されていない場合には、ラジオやテレビの受信障害の原因となることがあります。
もし本製品がラジオ・テレビ受信の障害原因と思われましたら、次の方法を組み合わせて防止してください。

- 受信アンテナやフィーダーの方向を変えてみる
- 本製品の使用方向を変えてみる
- 受信機と本製品の距離を変えてみる
- 本製品と受信機とは別系統の電源ラインを使用してみる

本システム（きょう体と安全装置含む）は、クラス 2 レーザ機器です。

【注意】
本書および取扱説明書に規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザ放射の被ばくをもたらします。
IEC 60825-1 Edition 3.0(2014-05)

【本システムのレーザ仕様】（きょう体を含む）
最大出力：1 mW 以下、パルス持続時間：3.0 µs、波長：655 nm

安全表示について

警告と注意の意味

警　告	**回避しないと死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況の場合に使用します。**
注　意	**回避しないと軽症または中程度の損害を招く可能性がある危険な状況の場合、または製品の全部または一部が損傷する場合に使用します。**

図記号の意味

警告記号	意味
	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この表示は、かならず実行していただく「強制」内容です。

Note

安全表示中の本体の各部名称については、取扱説明書の「はじめに」P.9 をご覧ください。

感電・ショート・火災について

⚠ 警　告

湿気やホコリの多い場所に設置しないでください。
感電・火災の恐れがあります。

破損した電源ケーブルを使用しないでください。
感電・火災の原因になります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

以下の場所には、アース線を接続しないでください。
- **ガス管**
  引火や爆発する恐れがあります。
- **電話線用アース線および避雷針**
  落雷時に大量の電流が流れる可能性があります。
- **水道管および蛇口**
  配管の途中がプラスチック製になっている場合は、アースの役目を果たしません。

通風孔などの開口部から製品内部に、金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

異物や水などの液体が製品内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
すぐに電源ボタンをオフし、電源プラグをコンセントから抜いて、カスタマーサポートまでご連絡ください。

毛布やテーブルクロスのような布を本製品にかけ、通風孔をふさがないでください。
通風孔をふさぐと本製品内部に熱がこもり、火災の恐れがあります。

電源ケーブルを取り扱う場合は、以下の点に注意してください。
- **電源ケーブルを加工しないこと。**
- **電源ケーブルの上に重いものを載せないこと。**
- **電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないこと。**
- **電源ケーブルを熱器具の近くに配線しないこと。**

電源プラグを取り扱う場合は、以下の点に注意してください。
取り扱いを誤ると火災の原因となる恐れがあります。
- **電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。**
- **電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む。**

かならず指定の電源を使用してください。
指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。

電源コンセントから直接電源を取ってください。
タコ足配線はしないでください。
発熱し、火災の原因となります。

電源はかならずアース端子付きの専用コンセントを使用し、アース線に接続してください。
アース線を接続しないと、感電・火災の原因となります。

アース線は、かならず以下の規格を満たすアース線に接続してください。
- **電源コンセントのアース端子**
- **銅片を深さ 650 mm 以上の地中に埋めたアース線**
- **D 種接地工事を行っている接地端子**

かならず指定の電源ケーブルを使用してください。
- 指定品以外の電源ケーブルを使用すると、感電・火災の原因となります。
  指定の電源ケーブルについては、販売店までお問い合わせください。
- 電源ケーブルは保護接地端子を備えたものとし、確実にコンセントに接続してください。
- 電源ケーブルは使用する国の安全規格、電源電圧、プラグ形状に適合したものを使用してください。

各種コード（ケーブル）は、本書で指示されているとおりに配線してください。
配線を誤ると、火災の恐れがあります。

ネジで固定してあるカバー類は、絶対に開けないでください。
感電または故障する恐れがあります。

本製品内部に水気が入らないように注意してください。
電気回路がショートする恐れがあります。

設置について

⚠ 警　告

本製品を以下の場所には設置しないでください。
転倒・転落により、けがをする恐れがあります。
- **ぐらついた台の上**
- **傾いている場所**
- **他の機械等の振動が伝わる場所**

⚠ 注　意

本製品を傾けたり、上下を逆にしないでください。
内部のインクが漏れる恐れがあります。
また移動後の正常動作が保証できません。

本製品を開梱または移動する場合は、かならず 4 人以上で作業してください。

この機器は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。

本製品は水平の状態を保ったまま移動してください。

本製品を梱包箱から取り出すときは、かならずビニールを外し、搬送用ステーを取り付け、そのステーを持ってください。
ビニールを付けたまま持ち上げると、手を滑らせて落下、破損させる恐れがあります。

取り扱いについて

⚠ 警　告

本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
転倒・転落によりけがをする恐れがあります。

⚠ 注　意

清掃時は、以下を守ってください。
- **インクが目に入らないよう、ゴーグルなどの保護具を着用してください。**
- **インクが直接手に付かないよう、手袋を着用してください。**
- **清掃作業は、必ず指示された手順通り行ってください。**
  特にプリントヘッド周辺、クリーニングワイパー、キャップを清掃した後に、同一のクリーンスティックでノズル面を湿らせることはしないでください。プリントヘッドの故障の原因となります。
- **必ず未使用のクリーンスティックを使用して、専用メンテナンス液に浸してから、作業を行ってください。**
  専用メンテナンス液以外を使用すると、プリントヘッドが目詰まりする原因となります。
- **クリーンスティックの先端を指でさわらないでください。**
  皮脂が付着するとプリントヘッドの故障の原因となります。
- **クリーンスティックは再利用しないでください。**
  付着したホコリ等により、プリントヘッドが破損する恐れがあります。

プリントヘッド外周を清掃するときは、プリントヘッドのノズル面には絶対に触れないでください。
プリントヘッドが破損する恐れがあります。

クリーニングワイパー清掃時は、クリーニングワイパーおよびヘッドキャップユニットには手を触れないでください。
油脂が付着してヘッドクリーニングが正常に行えなくなる恐れがあります。

取り扱いについて（続き）

インク充てん中に、以下の動作を行わないでください。
- 本製品の電源をオフにする
- 本製品の電源ケーブルを抜く
- フロントカバーを開ける
- メンテナンスカバーを開ける
- メディアセットレバーを上げる

本製品を移動するときは、短い距離であっても廃液タンクを空にしてください。
移動時に廃液タンク内でインクがはねると、故障の原因となります。

フロントカバーは力を入れて閉じないでください。途中から自重で閉じます。
必要以上に負荷をかけると、部品の寿命低下や機体の破損につながる恐れがあります。

作業場所は換気をしてください。
臭いで気分が悪くなったり火災の原因となります。

シンナー、ベンジン、アルコール等の揮発性薬品は使用しないでください。
塗装を傷める原因となります。

UV LED 装置から少量の紫外線（青白い光）の漏れがありますが、安全なレベルに抑えられています。本製品を取扱う場合は以下の点に注意してください。
- 紫外線を至近距離で長時間見つめないでください。
  眼障害の原因になります。
- 紫外線を至近距離で長時間皮膚にあてないでください。
  炎症をおこす原因になります。

消耗品について

⚠ 警　告

- 廃液は直射日光を避け、冷暗所に保管してください。
- 廃液は火気や高温のものから遠ざけてください。
- 廃液は少量であっても、他の物質、液体と混合しないでください。
  他の物質（酸化剤など）と混合すると、発熱の原因となります。

- 本製品から出る廃液は、産業廃棄物（事業系 19 品目の内）の廃油（廃インキ）に該当します。廃棄物処理法および各自治体の条例に基づき、適正な廃液処理が義務付けられます。廃液処理業者に処理を委託してください。
- 本製品から出る廃液は水生生物に対し有害です。生活排水や自然水系への流出を防いでください。
- 廃液は HDPE 製かつ、遮光性がある容器で保管してください。
- 廃液を長期保管をする場合は、完全密封状態とせず容器に通気口を設けてください。

⚠ 注　意

インクカートリッジを分解しないでください。
分解すると、インクが目に入ったり皮膚に付着し、炎症やアレルギー反応を起こす場合があります。

インクカートリッジをはじめて使用する前に、かならず安全データシート（SDS）をお読みの上、作業を行ってください。

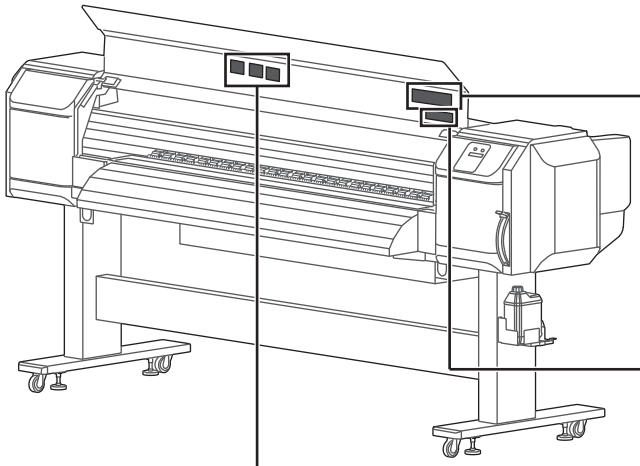
硬化前のインクに素手で触れないようにしてください。
- プリンター使用時は手袋、ゴーグルまたは保護メガネ、保護衣をご着用ください。
- 特にインクの付着する恐れがある作業を行う場合（例：インクカートリッジおよび廃液の取り扱い、プリントヘッド・キャップ・ワイパのクリーニング）、必ず付属品の手袋もしくは耐溶剤性の手袋を着用し、インクが付着しないよう注意してください。
- 手袋にインクが付着した場合は新しい手袋に取り換えてください。
- 皮膚に付着した場合は直ちに石鹸と多量の水で 15 分間洗浄し、万一刺激が続いたり炎症がある場合は医師の診断 / 手当を受けてください。
- 眼に入った場合は多量の水で 15 分間洗浄し、速やかに医師の医師の診断 / 手当を受けてください。
- 飲み込んだ場合は直ちに口をすすぎ、無理に吐かせないようにし、医師の診断 / 手当を受けてください。

インクカートリッジは必ず下記を行ってください。
- 初めて使用する前にかくはんしてください。
- パネルメッセージに従ってかくはんしてください。

警告ラベルについて

本製品の危険箇所には、警告ラベルを貼っています。ラベルの内容を理解し、かならずお守りください。
ラベルが剥がれたり汚れたりした場合は、交換のため販売店にご連絡ください。

- 正面側



⚠ CAUTION / ATTENTION / 注 意

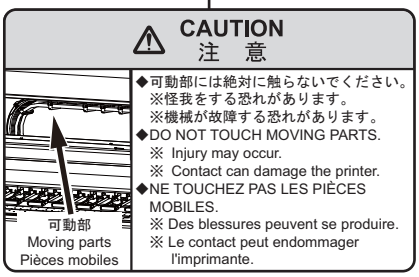
◆Do not give a direct wind from a fan or air conditioner to the machine.
※A wind may dry the ink in the head nozzles causing clogging that affects ink jetting, and you will not be able to obtain satisfactory printing results.
◆Normal cleaning should be done once a week if the printer is not used for a long period.
※If the printer is left without cleaning,the ink will be hardened inside the head nozzle, and may cause the head trouble.
◆Do not open the front cover while printing. Moreover. Do not touch the media while printing. Good printing result might not be obtained.
※Please remove the media and hold the lever up when not using for a long time. Due to the environment conditions, media float and wrinkle might happen that does not obtain the good result.
◆Paper guides, platen and paper holding plate will become hot due to the heater temperature setting. Beware of being burned.

◆Ne pas exposer directement l'imprimante aux courants d'air des appareils de ventilation ou de climatisation.
※Un courant d'air peut affecter la projection d'encre, empêchant ainsi l'obtention d'une qualité d'impression satisfaisante; ou entraîner un dysfonctionnement de la tête d'impression, suite à l'assèchement de l'encre à l'intérieur des buses.
◆Si vous n'utilisez pas l'imprimante durant une longue période, effectuez un nettoyage normal une fois par semaine.
※Si vous ne le faites pas, cela pourrait entraîner un dysfonctionnement de la tête d'impression, suite à l'assèchement de l'encre à l'intérieur des buses.
◆Ne pas ouvrir le capot frontal en cours d'impression.De plus, en cours d'impression, ne pas introduire vos mains par les ouvertures, et ne pas toucher au papier.Vous pourriez vous blesser, ou ne pas obtenir une qualité d'impression satisfaisante.
※Si vous n'imprimez pas durant une longue période, retirer le papier, et maintenir le levier en position haute.A défaut, vous risquez de ne pas obtenir une qualité d'impression satisfaisante.
◆Le réglage de la température du chauffe-eau, papier - depuis le guide, platine, papier plaque de pression est une température élevée, il peut provoquer des brûlures.

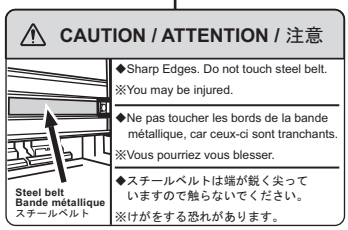
◆直接機械に送風機や空調装置の風を当てないで下さい。
※風によりヘッドノズル内のインクが固まりヘッド故障の原因になったり、インクの吐出に影響を与え、満足な印字結果が得られないことがあります。
◆長期間プリンタを使用しない場合は、週に一度ノーマルクリーニングを行ってください。
※クリーニングを行わずに放置すると、ヘッドノズル内でインクが固まりヘッド故障の原因となります。
◆作画中はフロントカバーを開けないでください。また、作画中は開口部から手を入れたり用紙に触れないでください。思わぬケガをしたり、良好な作画結果が得られないことがあります。
※長時間作画を行わない時は、用紙を外しホールドレバーをアップ状態にしてください。良好な作画結果が得られないことがあります。
◆ヒーターの温度設定により、ペーパーガイド、プラテン、用紙押えプレートが高温となるため、火傷をする恐れがあります。

プリンター取扱注意ラベル

カッター注意ラベル

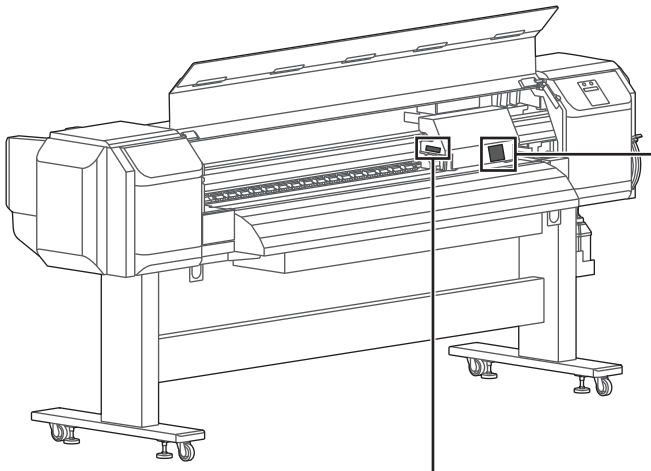


可動部注意ラベル



スチールベルト接触禁止ラベル

フロントカバー開閉注意ラベル

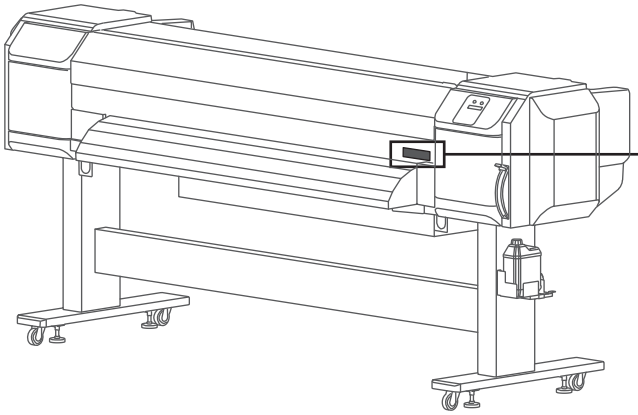


UV警告ラベル

紫外線に注意：
直視したり、皮膚に当てたりしないでください。

カッターキャップ注意ラベル

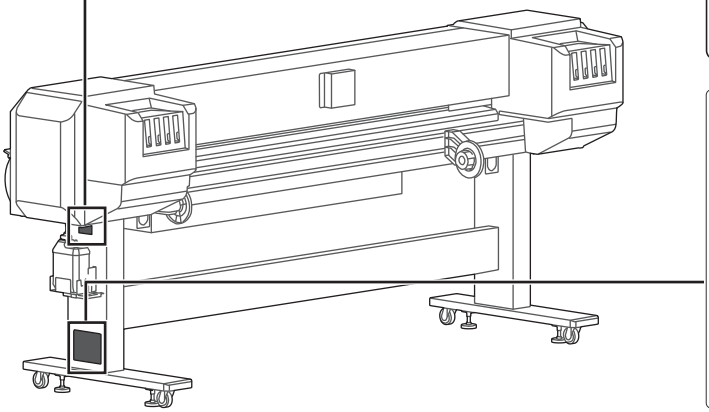
カッターの刃を交換するときに、カッターキャップを押さないでください。

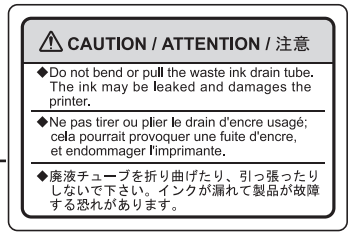


UV警告ラベル

紫外線に注意：
直視したり、皮膚に当てたりしないでください。

- 背面側



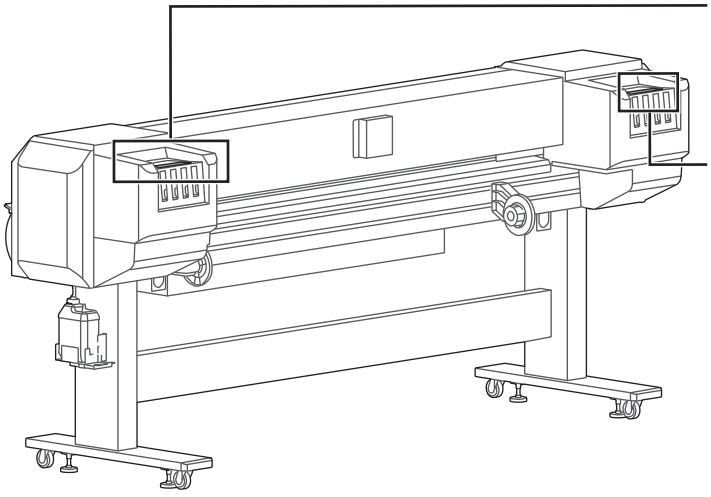


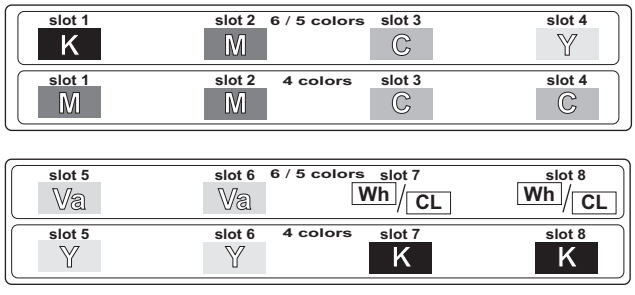
廃液チューブ取扱ラベル

廃液注意ラベル

操作説明ラベルについて

本製品の操作で注意が必要な箇所には、操作説明ラベルを貼っています。ラベルの内容は次のとおりです。





インク色表示ラベル

お問い合わせ先

本製品で技術的にお困りのことがございましたら、MUTOH カスタマーサポートまでお問い合わせください。

MUTOH カスタマーサポート

TEL : 0120-174911

FAX : 0120-184711

E-mail : gsup@mutoh.co.jp

営業日：月～金曜日（土、日、祝祭日、弊社指定休日を除く）

受付時間：午前 9:00 ～ 12:00、午後 1:00 ～ 5:00

MUTOH